

宮崎大学教育学部

就職委員会ニュース

「将来、何になりたい？」

あの頃、友達と語り合った 夢

その第一歩として入学した 教育学部

4 年前に出会った学生達が新たなステージへ力強く旅立っていきました



平成11年に発行した第1号から数えて第27号目 令和7年度の「就職委員会ニュース」をここにお届けいたします。小誌が保護者、学生及び大学の連携の一助となれば幸いです。



平素より、宮崎大学教育学部の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

今年も、就職委員会ニュースとして、就職に関する最新の情報等をお届けいたします。

はじめに、令和6年度教育学部卒業生の就職状況についてご報告いたします。次ページの「就職の状況」にありますように、就職率は3年連続の100%となりました。また文部科学省より提出を求められる「教員就職率」（大学院進学者と保育士を除く卒業生中）については、**85.04%**（前年度81.1%）と高記録を更新しました。前年度の数値が国立大学法人教員養成学部44のうち第6位でしたので、今回の文科省発表が楽しみなところではあります。

そして、これまでなかなか向上しなかった本学部生の教員採用試験受験率も**88.2%**（前年度72.88%）にアップしました。このことは、全国的な教員志望者減少という深刻な問題の中、本学部生が教職への意欲を保ち続けていることの表れであり、大変喜ばしい結果です。なお、3年次受験の希望者も増えております。宮崎県の場合は1次試験の「教職教養」を受験しますが、合格した際は、次の年に1次試験の「専門」を受験すれば良いことになります。4年次の負担軽減につながりますので、こちらも検討してみたいと思います。

最後に就職委員会の今年度の取り組みをご紹介します。

〔7月～〕大学院特別教授等による教師力向上講座、木犀会(学部OB)による対策講座
〔10・11月〕教職パワーアップ集中セミナー

〔11月～〕外部講師による教採対策講座、学部教員による教職対策講座

上記の他、新たに10月から実施される協同出版株式会社企画「教採1次試験対策講座」に、学部として申し込むことにいたしました。オンデマンド形式の講座で、本学部生はテキスト代（3,300円）のみで受講できますので、2年生以上の皆さんには、ぜひ積極的に利用して欲しいと思います。

私共、学生さんの要望に応えながら、教員就職に向けて真摯にサポートして参りますので、引き続き、保護者の皆様のご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

就職委員会 委員長 藤本いく代



就職全般



区 分	卒 業 生	進 学 者	教 員											
			小学校		中学校		高校		特別支援		幼稚園		小計	
			正 規	臨 時	正 規	臨 時	正 規	臨 時	正 規	臨 時	正 規	臨 時	正 規	臨 時
学 校 教 育 課 程	128	18	46	1	20	7	3	5	7	0	3	0	79	13

区 分		公 務 員		情 報 通 信 業	農 業 ・ 林 業	卸 売 業	不 動 産 業	保 険 業	サ ー ビ ス 業	社 会 福 祉 業	支 教 育 援 ・ 学 業 習	小 計	合 計
		正 規	臨 時										
学 校 教 育 課 程		9	0	2	1	1	1	1	1	1	1	18	128

<宮崎県教員採用試験の校種ごとの倍率(過去4年間の推移)>

採用年 校種	令 和 4 年 4 月 採 用			令 和 5 年 4 月 採 用			令 和 6 年 4 月 採 用			令 和 7 年 4 月 採 用		
	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率
小 学 校 教 諭	351	220	1.6	279	159	1.8	245	168	1.5	228	192	1.2
中 学 校 教 諭	362	81	4.5	318	91	3.5	285	78	3.7	264	81	3.3
高等学校教諭	363	53	6.8	298	56	5.3	266	46	5.8	263	49	5.4
特別支援学校 教 諭	144	33	4.4	119	38	3.1	105	30	3.5	88	32	2.8

<宮崎県の令和6年教員採用試験(令和7年4月採用)教科ごとの倍率>

	教 小 学 諭 校	中 学 校 教 諭										
		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術	家 庭	英 語	計
受 験 者 数	228	17	53	46	17	7	9	65	2	5	43	264
合 格 者 数	192	12	11	10	11	6	5	14	2	2	8	81
倍 率	1.2	1.4	4.8	4.6	1.5	1.2	1.8	4.6	1.0	2.5	5.4	3.3

	高 等 学 校 教 諭												
	国 語	世 界 史	地 理	数 学	理 科			保 健 体 育	美 術	書 道	英 語	家 庭	情 報
					化 学	生 物	地 学						
受 験 者 数	15	13	9	46	9	15	3	65	3	5	18	2	10
合 格 者 数	7	1	1	5	1	2	1	8	1	1	3	2	2
倍 率	2.1	13.0	9.0	9.2	9.0	7.5	3.0	8.1	3.0	5.0	6.0	1.0	5.0
	高 等 学 校 教 諭												特 別 支 援 学 校 教 諭 等
	裁 培	畜 産	林 業	土 木	機 械	電 子	電 気	建 築	土 木	化 工	イ ン テ リ ア	商 業	食 品 裁 培
受 験 者 数	12	2	1	1	1	5	4	2	4	1	17	1	263
合 格 者 数	3	0	1	0	0	4	1	1	1	1	1	1	49
倍 率	4.0	-	1.0	-	-	1.3	4.0	2.0	4.0	1.0	17.0	1.0	5.4

教職について

『教職』就職活動の流れ

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1・2年	自己の適性分析 ボランティア体験・サークル活動											
3年	受験予定自治体の要項・過去問を入手する 協同出版及び外部講師による教員採用試験対策講座 教職パワーアップ集中セミナー 教職関係の本・雑誌などを読む 小論文対策 今年度の問題分析・先輩に話しを聞く 文部科学省のホームページを確認											
4年	受験自治体のホームページを確認 教職対策講座											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
公立学校教員採用選考試験スケジュール	募集要項配布 願書提出		一次試験		一次試験合格発表			採用候補者名簿に登録		募集要項配布		公立学校教員として赴任



令和8年度（令和7年度実施） 教員採用選考試験 主な変更点 宮崎県編

『宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項』より抜粋

1. 大学3年生の受験について

「大学3年生チャレンジ受験」を実施します。

2. 併願受験について

新たに、併願が可能な受験区分、教科が増えました。

3. 加点制度について

中学技術の免許所有者の加点を4点から8点に増やしました。

英語力を有することを示す項目（英検など）の加点の条件を引き下げるとともに、中学校教諭等英語、高等学校教諭等英語の受験者で英検1級などのCEFR C1相当以上の英語力を有する者の加点を8点に増やしました。

4. 特別選考試験について

「宮崎大学教育学部（小中一貫教育コース小学校主免専攻）地域枠選考試験」を実施します。

「博士号取得者を対象とした特別選考試験」を実施します。

令和8年度（令和7年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験における主な日程について（大学3年生チャレンジ受験実施を含む）

1. 出願期間

各自治体の変更点については、
各県の実施要項やホームページ
で確認できます。

(1) 一般選考試験

電子申請システムによる登録期間 令和7年2月11日（火）～3月21日（金）正午

(2) 特別選考試験

電子申請システムによる登録期間 令和7年2月11日（火）～3月14日（金）正午

2. 第一次選考試験の日程

令和7年6月15日（日曜日）予備日は6月22日（日曜日）

3. 第二次選考試験の日程

令和7年7月26日（土）～8月3日（日）



大学生3年生チャレンジ受験

同日（6月15日）に実施します。受験内容は教職教養となります。

合格者については、令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の第一次選考試験の、教職教養受験が免除となります。

大学院修士課程在籍者又は進学者に対する特例（宮崎県）



大学院修士課程又は専門職学位課程（教職大学院）に在籍 又は 進学する第二次選考試験合格者の採用時の特例扱い について

採用内定者が、教員としての資質及び能力の向上を目的として大学院の
修学継続又は進学を希望する場合、本人の申し出により、要件を満たした者には
「名簿登載による1年間又は2年間の採用延期」を認める。

※詳しくは、教員採用選考試験実施要項に掲載がございます。

※宮崎県以外については、各都道府県の公立学校教員採用試験実施要項等でご確認ください。

現況について

令和7年度実施 教員採用試験 一次試験合格状況

※延べ数

	受験者数	一次試験 合格者数
4年生	110	102
3年生チャレンジ受験	43	35

教職に関する講座の紹介

幼稚園ガイダンス R7.5.28



木犀会(教育学部同窓会)による
二次対策講座 R7.7.15



井之上先生による教員採用選考試験の教職教養及び
二次対策講座 R6.11月~R7.8月 計92回実施



学部・大学院の実務家教員による
「教師力向上講座」 R7.7月 計15回実施



教職パワーアップ集中セミナーR6.10.27



教員採用選考試験 教職教養講座

令和7年度から学部教員による教職対策講座に加えて、新たに協同出版株式会社のオンデマンド形式の教職教養講座を実施しています。

対象は、教育学部2・3・4年・大学院生になります。

<講座内容>

教職教養対策 8コマ

原理2コマ、法規2コマ、学習指導要領1コマ
心理1コマ、時事1コマ、教育史1コマ

動画で学ぶ
オンデマンド講座

自分のペースで
繰り返し学習！

無理なくスタート！
最後までやりきれる！

<配信期間>

10月中旬～3月末予定

受講料は無料。テキスト代のみで受講できます

<テキスト>

2027年度版 ペアブックシリーズ

<教職教養対策>

教職教養の要点整理 1,650円

教職教養の予想問題 1,650円

教職教養対策では、「要点整理」を使いますが、ステップアップの教材として「予想問題」の購入をお勧めいたします。



教員採用選考試験対策を始めるきっかけにもなると思いますので、みなさん、積極的に声をかけあって受講し、合格を目指しましょう。

教職以外の就職について



就職活動の流れ『公務員』

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	教養試験対策として大学入試共通テスト程度の基礎学力を維持する（～4年）											
2年	「教養試験と専門試験」がある公務員（主に県職員・国家一般職）を目指すのか、「教養試験」だけの公務員（主に警察・市町村職員）を目指すのか進路を決定する 各種の参考書や受験雑誌を購読して受験勉強を始める											
3年	予備校の集中講座に参加する等して実力向上を図る											
4年	受験先を決めて勉強に集中する											

就職活動の流れ『企業』

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1・2年	・その日の新聞を読む ・TVニュース・ニュース解説などを見る ・幅広い読書週間を身につける ・部活動やボランティア活動に参加する											
3年	・自己分析・自己理解（7・8月） ・業界・就職研究（8～10月） ・業界・企業選択（11月・12月） ・志願動機形成（1・2月） ・資料請求（1月～） ・企業セミナー（企業説明会）会社訪問											
4年	・採用試験 ・採用内定・採用内定の承諾または辞退、受験結果を教務・学生支援係に報告											

主な就職先（公務員）

（令和5年度卒業生）

都城市役所
小林市役所
日南市役所
熊本市役所
庄原市役所
香川県警察
広島県警察

（令和6年度卒業生）

宮崎県庁
都城市役所
国富町役場
三股町役場
佐々町役場

主な就職先（企業）

（令和5年度卒業生）

児童発達支援 HAPPY WORKS 清武校
株式会社 昴
株式会社 あわしま堂
SMBC日興証券 株式会社
ホリデイスportクラブ
有限会社 友愛興業

（令和6年度卒業生）

株式会社MJC、社会福祉法人げんき
TOBASE Island Works協同組合
株式会社石田コーポレーション
オリゾンシステムズ株式会社
株式会社ヒトカラメディア
明治安田生命保険相互会社
株式会社LEPONEエンターテイメント

宮崎大学キャリア支援について

- アドバイザーによる、就職に関する相談、素朴な疑問や悩みを気軽に相談いただけます。
- 就職活動において役立つセミナーやガイダンスを定期的 to開催しています。
- 宮大生向け求人票を学部情報システム（わかば）に掲載しています。

詳しくは学生支援課キャリア支援系のホームページをご確認ください！

URL : ホームページはこちらから↓
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/job-info/career-support/>



キャリアサポートアクティブラーニンググループの紹介

教務・学生支援系の部屋の前にあるキャリアサポートアクティブラーニンググループは、様々な教員採用試験や、公務員試験や民間企業の試験対策本など多数書籍を揃えております。自由に閲覧することが可能です。また、教員採用試験の模擬授業の練習する場として使用することも可能です。積極的に活用しましょう！

【書籍】

- ・小学校・中学校の教科書・指導書
- ・各都道府県の教員採用試験過去問
- ・公務員試験過去問・ジャーナル
- ・SPI過去問



末永 旭 現 小郡市立三国中学校
(教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻
令和7年3月卒業)

宮崎大学を令和7年3月に卒業して、6か月ほどが経ちました。私は現在、福岡県にある小郡市立三国中学校で1年生の担任をしています。赴任してから毎日分からないことの連続で、目まぐるしい日々を送ってきました。ただ、忙しいながらも楽しい中で大事なことを学んできました。ここではその2つをご紹介しますと思います。

1つ目は何事にも謙虚な気持ちをもって取り組むことです。教員の働きは一人で完結できず、誰かの存在や働きがあって初めて成り立っています。教員になり、生徒や先生方、保護者や地域の方に対して感謝の気持ちをもって働くことの大切さを知りました。初任の間は何もかも分からず、焦りや不安に追われて時間が過ぎていますが、多くの方々に様々なことを教わり、何度も助けられています。それを当たり前だと思わず謙虚さや感謝の気持ちをもち続けることで困難を乗り越えられると確信しています。

2つ目は子どもを信じることです。学校生活の中で子どもがやっていることについて口を出してしまったり、子ども主体ではなく自分が代わりにやってしまったりすることがあります。しかし子どもは毎日少しずつ学びを深め、主体的な活動の中で大きく成長していきます。教員がそのチャンスをないがしろにしたり、悪いところばかりに目を向けたりするのは勿体無いことだと感じます。もちろん悪い部分を指導することは大切ですが、日々子どもを信じ、成長を見出せる教員になりたいです。

教員になって間もないですが、毎日考えることばかりです。ただ、そんな私のやりがいになっているのは紛れもなく子どもたちの成長や笑顔です。綺麗ごとのように聞こえるかもしれませんが、仕事を楽しめるのは子どもたちのおかげです。中学校1年生の生徒と同じように、私自身も初めての環境と真新しい毎日の中で学びを深め、積極的に学び続けていきたいです。

最後になりましたが、大学での学びは現場で必ず役に立ちます。講義で学んだことが、日々の業務や実践の中で深い理解へと繋がることも多くあります。学生のうちに様々な経験をして学びを深めてください。皆さんの未来を心より応援しています。



『よりよい教育を追求する楽しさ』

前田 晏寿

現 宮崎県立小林秀峰高等学校
(教育学研究科 教職実践開発専攻教科領域指導力高度化コース
令和7年3月修了)

「子どもの成長に限りがないように、教員もまた常に学び続け、よりよい教育を追求し続ける必要がある」——これは、教職大学院の講義「学校経営の現状と課題」で扱われた書籍の一節です。何気なく書かれていたこの言葉でしたが、私には非常に印象的でした。

センター試験をはじめ、これまでに受けてきた多くのテストでは、常に模範解答があり、正解を導き出すことが当たり前のようにならされてきました。特に工学部出身の私にとって、「正解」ではなく「よりよい答え」を探し続けるという教育学の根本となる考え方に触れたことは、大きな衝撃でした。そのときの戸惑いや驚きは、今でも鮮明に覚えています。

工学部でも、教職に関する講義を履修し、教育の基礎的な知識には触れていましたが、教職大学院での学びはそれとは少し異なります。たとえば、2年間のうちに約3ヶ月の実習期間が設けられていることから分かるように、ここでは知識を得ることに加え、「あなたならどうするか」という問いが常に突きつけられます。日々の講義では、理論をただ聞いて終わるのではなく、その内容を踏まえた議論や発表が中心になります。当たり前ですが、理論と実践との間には明らかなギャップが存在します。知識として理解していても、生徒を目の前にしてそれをうまく実践するのは容易ではなく、自分が思っていた以上に理解できていなかったことを痛感する場面も多くありました。教育と真正面から向き合い、考え、実践し、仲間や先生方から多くのアドバイスを受け、また試す——それを繰り返す2年間は、単なる知識の習得ではなく、教職に向かう姿勢そのものを鍛える時間だったように思います。

教職大学院を修了して約5ヶ月がたち、私は今小林秀峰高校で物理の教員をしています。

「物理は難しいけど、面白いから授業では眠くならない」と言われたことが最近の嬉しかったことです。もちろん毎回上手できれいな授業ができている訳ではなく、悔しい思いをして授業を終えることも多々あります。しかし、私には2年間で学んだ揺るぎない理論と、教育に関する多くの引き出しがあります。課題研究を通して深めた、科学教育と物理学の本質に関する理解は、日々理科の授業をする上で、方向性を見失わないような大きな指針となっています。また、様々な人にアドバイスを受けて柔軟に知識を吸収することの重要性和、上手くいったときの喜びも教職大学院で知りました。正解がないからこそ、教育には限りない魅力があるのだと思います。私自身も日々模索していますが、いつか皆さんと、その探究の過程を共に楽しめたら嬉しいです。



矢田 大翔 現 教育学研究科 教職実践開発専攻 教職実践高度化コース
生徒指導・教育相談分野 1年
(長崎大学 教育学部 特別支援教育コース 令和7年3月卒業)

私は「教師になりたい」と強く思ったことは、正直あまり多くありません。そして、「教師になる」と決意した瞬間も、実ははっきり覚えていません。それなのになぜ教師を目指すことにしたのかと聞かれたら、こう答えると思います。「自分自身の心の声を聴き続けてきたから」と。

私は漠然と「多くの人に影響を与えられるようなことをしたい」と思っていました。そう考えるようになったのは、これまでのさまざまな経験や人との関わりの影響が大きいと思います。高校の進路選択のとき、当初は工業高校に進学しようと考えていましたが、「大学に進学してみたいな」という軽い気持ちから普通科高校を選びました。当時は普通科高校入学することが精一杯の学力で、大学は「受験が厳しくない私立大学でいい」と思っていました。ところが、周囲の影響もあって勉強に力を入れるようになり、次第に「国立大学を目指せるかもしれない」という気持ちが芽生えました。部活動を引退し、いよいよ進路を真剣に決めなければならない時期に、「自分は何になりたいのか?」と自分に問い続けたことを覚えています。その声に耳を傾け続けるうちに、「宮崎県の教育の発展に貢献したい」という思いに気づきました。結果として、県外の国立大学教育学部に進学し、現在は地元の大学院で学びながら、力量ある新人教員を目指しているところです。

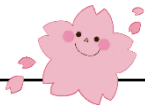
このように、私は最初から教師を志していたわけではありません。ただ、これから先どうしたいのか、どう生きたいのかを自分に問い続け、その答えに耳を傾けてきただけです。

もし、教師を目指したいという気持ちがあるなら、ぜひその道を選んでください。もしそうでないなら、「自分は本当に何をしたいのか」「どうありたいのか」を自分自身に問いかけてみてください。その声を大切にし、それに従って進んでいけば、自然と道は開けると信じています。

皆さまの成功を、心から願っています。



令和7年度 就職委員会年間計画

月	1年生～3年生	4年生
4月	・新入生オリエンテーション(教職ガイダンス) ・在学生オリエンテーション	・在学生オリエンテーション(教職ガイダンス) ・教員採用試験二次試験対策講座 ※4月～8月 
5月	・宮崎県幼稚園連合会による幼稚園ガイダンス（全学年）	
6月	・第1回進路希望調査 3年生 ・教育実習前マナー講座 3年生	・第1回就職内定状況調査
7月	・ハラスメント防止研修 3年生	・教師力向上講座 ・木犀会による教員採用試験二次試験対策
8月	 ・卒業・修了生の就職先企業アンケートの実施	
9月	「就職委員会ニュース」発行	
10月	・教職ガイダンス 3年生 ・教職パワーアップ集中セミナー1回目 3年生	
11月	・教職パワーアップ集中セミナー2回目 3年生 ・第2回進路希望調査 3年生 ・教員による教職対策講座 3年生 11月～2月実施 ・教員採用試験対策講座 2・3年生 11月～3月実施	
12月		・第2回就職内定状況調査 
1月～3月	・自治体による教員採用試験説明会 ・宮崎県教員採用試験に係る特別選考試験の学内推薦者の募集（募集のある他自治体含む） ・教員採用自治体別模試（東京アカデミー）	・臨時採用教員の求人情報を学生に連絡 ・卒業後の動向調査
・最新版「教員就職の手引き」WEB公開		

編集後記

「本学部の採用試験受験率、教員就職率はともに上昇傾向にあります。これは学生達が入学時に持っていた夢や目標を実現した表れです。さらに、学生達が努力を継続できる環境が整ってきたのだといえます。この環境は講義等をおこなう教員だけで作り上げることはできません。学生達のモチベーションを4年間保つことができたのも、彼らを親身に見守る多くのスタッフのサポートがあってこそだと思います。学生達の成長の場は、事務方スタッフから「結果を待っている学生達のドキドキが伝わってきて、私もドキドキしてしまいます。」というような話題が出るほどの暖かな空気に包まれています。この冊子を読まれた方々にも、学生達の夢を追う姿を暖かく見守っていただくことを願います。

大泉 佳広

発行者：宮崎大学教育学部 就職委員会
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1
TEL 0985-58-2890 FAX 0985-58-7772
令和7年9月発行